

財 務 諸 表

## 貸 借 対 照 表

横浜市住宅供給公社  
(単位：円)

科 目	前年度 平成23年3月31日現在	当年度 平成24年3月31日現在
<b>流動資産</b>	10,597,139,504	15,085,571,466
現金預金	4,283,596,118	4,383,455,715
有価証券	999,982,375	300,010,500
未収金	954,128,977	1,580,185,650
分譲事業資産	2,100,000	710,045,548
分譲資産建設工事	2,100,000	710,045,548
まちづくり事業建設工事	4,254,887,054	8,023,917,807
受託事業建設工事	26,410,450	0
前払金	11,947,003	12,698,780
その他流動資産	64,645,013	75,527,296
貸倒引当金	△557,486	△269,830
<b>固定資産</b>	24,033,196,441	23,700,450,596
<b>賃貸事業資産</b>	22,967,689,709	22,832,990,725
<b>賃貸住宅資産</b>	15,513,356,514	15,581,820,540
減価償却累計額	△2,277,838,468	△2,468,172,636
<b>賃貸施設等資産</b>	12,294,479,321	12,346,025,938
減価償却累計額	△2,571,959,524	△2,633,525,545
減損損失累計額	△10,907,661	△10,907,661
賃貸資産建設工事	997,500	0
長期前払費用	19,562,027	17,750,089
<b>その他事業資産</b>	671,743,822	526,193,826
長期事業未収金	671,743,822	526,193,826
<b>有形固定資産</b>	102,821,082	79,530,448
<b>建物等資産</b>	120,253,640	114,999,962
減価償却累計額	△43,458,482	△42,136,453
減損損失累計額	△32,678,207	△32,678,207
<b>土地資産</b>	46,999,305	46,999,305
減損損失累計額	△24,810,249	△24,810,249
<b>その他有形固定資産</b>	193,607,721	192,603,858
減価償却累計額	△157,092,646	△175,447,768
<b>無形固定資産</b>	27,148,006	17,524,257
<b>その他無形固定資産</b>	27,148,006	17,524,257
<b>その他固定資産</b>	309,140,726	281,985,398
長期有価証券	59,835,000	60,000,000
その他資産	249,305,726	221,985,398
貸倒引当金	△45,346,904	△37,774,058
<b>資 産 合 計</b>	<b>34,630,335,945</b>	<b>38,786,022,062</b>

科 目	前年度	当年度
	平成23年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>流動負債</b>	6,967,978,597	12,840,287,273
次期返済長期借入金	396,500,724	2,421,153,697
未払金	1,208,997,482	3,063,950,955
前受金	3,899,240,360	5,857,434,150
預り金	1,389,276,362	1,424,016,010
引当金	73,667,623	73,173,655
期末手当等引当金	73,667,623	73,173,655
その他流動負債	296,046	558,806
<b>固定負債</b>	17,085,945,478	15,042,165,787
長期借入金	12,905,103,792	10,983,950,095
預り保証金	883,487,770	858,483,950
繰延建設補助金	1,080,652,471	1,048,834,563
引当金	1,871,295,745	1,791,214,491
退職給付引当金	1,009,201,745	976,110,601
計画修繕引当金	862,094,000	815,103,890
その他固定負債	345,405,700	359,682,688
<b>【負債合計】</b>	<b>24,053,924,075</b>	<b>27,882,453,060</b>
<b>資本金</b>	10,000,000	10,000,000
<b>剰余金</b>	10,566,411,870	10,893,569,002
資本剰余金	607,303,777	607,303,777
利益剰余金	9,880,242,663	10,201,311,275
特定目的積立金	78,865,430	84,953,950
<b>【資本合計】</b>	<b>10,576,411,870</b>	<b>10,903,569,002</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>34,630,335,945</b>	<b>38,786,022,062</b>

# 損 益 計 算 書

横浜市住宅供給公社  
(単位：円)

科 目	前年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	当年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
<b>事業収益 [a]</b>	5,417,623,737	5,612,645,183
<b>賃貸管理事業収益</b>	1,447,741,303	1,476,610,808
賃貸住宅管理事業収益	800,798,015	821,040,145
一般賃貸住宅管理事業収益	421,619,793	404,211,955
特優賃貸住宅管理事業収益	352,754,008	390,547,512
高優賃貸住宅管理事業収益	26,424,214	26,280,678
賃貸施設管理事業収益	646,943,288	655,570,663
<b>受託事業収益</b>	3,640,787,802	3,812,912,853
まちづくり事業収益	62,574,750	252,179,939
マンション等管理支援事業収益	1,193,785,366	1,343,777,024
民間提携住宅事業収益	859,248,929	862,029,711
市営住宅管理受託事業収益	1,514,325,957	1,343,057,623
その他受託事業収益	10,852,800	11,868,556
<b>指定管理者業務収益</b>	306,303,882	301,745,001
市営住宅管理事業収益	306,303,882	301,745,001
<b>その他事業収益</b>	22,790,750	21,376,521
長期割賦事業収益	22,790,750	21,376,521
<b>事業原価 [b]</b>	4,858,069,593	5,001,761,029
<b>賃貸管理事業原価</b>	987,876,721	1,044,535,219
賃貸住宅管理事業原価	653,740,417	692,620,160
一般賃貸住宅管理事業原価	358,129,132	357,710,660
特優賃貸住宅管理事業原価	269,812,859	309,277,549
高優賃貸住宅管理事業原価	25,798,426	25,631,951
賃貸施設管理事業原価	334,136,304	351,915,059
<b>受託事業原価</b>	3,509,158,009	3,618,175,481
まちづくり事業原価	87,707,664	223,150,071
マンション等管理支援事業原価	1,134,488,718	1,272,480,466
民間提携住宅事業原価	733,116,500	750,456,976
市営住宅管理受託事業原価	1,525,325,615	1,353,102,581
その他受託事業原価	28,519,512	18,985,387
<b>指定管理者業務原価</b>	338,785,560	321,624,995
市営住宅管理事業原価	338,785,560	321,624,995
<b>その他事業原価</b>	22,249,303	17,425,334
長期割賦事業原価	22,249,303	17,425,334

科 目	前年度	当年度
	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
一般管理費 [c]	231,095,192	200,007,686
事業利益 (損失) [d=a-b-c]	328,458,952	410,876,468
その他経常収益 [e]	14,780,609	21,703,968
受取利息	8,532,617	5,707,213
雑収入	6,247,992	15,996,755
その他経常費用 [f]	71,507,371	49,079,587
支払利息	32,282,765	30,991,769
貸倒損失引当金繰入	25,000,000	0
雑損失	14,224,606	18,087,818
経常利益 (損失) [g=d+e-f]	271,732,190	383,500,849
特別利益 (h)	786,310,382	0
計画修繕引当金戻入	786,310,382	0
特別損失 (i)	4,148,179	56,343,717
固定資産除却損	4,148,179	920,507
過年度分譲原価	0	55,423,210
当期純利益 (純損失) [j=g+h-i]	1,053,894,393	327,157,132

# 剰 余 金 計 算 書

横浜市住宅供給公社  
(単位：円)

項 目		前年度	当年度
		自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日
資本剰余金	期首残高	607,303,777	607,303,777
	当期増加高又は減少高	0	0
	非償却資産取得に係る補助金受入による増加高	0	0
	期末残高	607,303,777	607,303,777
利益剰余金	期首残高	8,832,455,847	9,880,242,663
	誤謬の訂正等に係る累積影響額による増減高	0	0
	修正再表示後の期首残高	8,832,455,847	9,880,242,663
	当期増加高又は減少高	1,047,786,816	321,068,612
	当期純利益	1,053,894,393	327,157,132
	賃貸住宅建替資金等積立金への積立による減少高	△6,107,577	△6,088,520
	期末残高	9,880,242,663	10,201,311,275
特定目的積立金	期首残高	72,757,853	78,865,430
	当期増加高又は減少高	6,107,577	6,088,520
	賃貸住宅建替資金等積立金の積立による増加高	6,107,577	6,088,520
	期末残高	78,865,430	84,953,950
合計	期首残高	9,512,517,477	10,566,411,870
	当期増加高又は減少高	1,053,894,393	327,157,132
	期末残高	10,566,411,870	10,893,569,002

## キャッシュフロー計算書

横浜市住宅供給公社  
(単位:円)

区 分	前年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	当年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
<b>事業活動によるキャッシュフロー</b>	505,993,625	1,476,846,825
分譲事業活動による収支	6,086,792	663,069,226
住宅地分譲事業の収支	6,086,792	663,069,226
一般分譲住宅事業の収支	6,086,792	663,069,226
分譲住宅の譲渡による収入	6,086,792	663,069,226
賃貸管理事業活動による収支	667,614,832	584,796,588
賃貸住宅管理事業の収支	300,902,414	217,159,173
一般賃貸住宅管理事業の収支	147,997,546	45,133,069
賃貸管理事業による収入	413,951,458	406,372,974
賃貸管理事業による支出	△265,953,912	△361,239,905
特優賃貸住宅管理事業の収支	139,447,772	160,959,123
賃貸管理事業による収入	329,349,794	367,952,236
賃貸管理事業による支出	△189,902,022	△206,993,113
高優賃貸住宅管理事業の収支	13,457,096	11,066,981
賃貸管理事業による収入	24,871,835	24,911,849
賃貸管理事業による支出	△11,414,739	△13,844,868
賃貸施設管理事業の収支	366,712,418	367,637,415
賃貸管理事業による収入	633,696,754	640,325,480
賃貸管理事業による支出	△266,984,336	△272,688,065
受託事業活動による収支	△12,188,512	296,275,005
まちづくり事業の収支	2,024,837	△25,894,903
受託事業による収入	58,107,000	91,799,750
受託事業による支出	△56,082,163	△117,694,653
マンション等管理支援事業の収支	25,657,531	27,676,572
受託事業による収入	1,132,123,876	1,188,893,687
受託事業による支出	△1,106,466,345	△1,161,217,115
民間提携住宅事業の収支	137,291,792	120,752,139
受託事業による収入	876,336,396	868,494,943
受託事業による支出	△739,044,604	△747,742,804
市営住宅管理受託事業の収支	△166,717,386	183,974,260
受託事業による収入	1,514,347,000	1,343,139,000
受託事業による支出	△1,681,064,386	△1,159,164,740
その他受託事業の収支	△10,445,286	△10,233,063
受託事業による収入	21,948,650	8,986,105
受託事業による支出	△32,393,936	△19,219,168
指定管理者業務の収支	△111,419,635	13,575,590
市営住宅管理事業の収支	△111,419,635	13,575,590
指定管理者業務による収入	305,715,094	307,422,857
指定管理者業務による支出	△417,134,729	△293,847,267
その他事業活動による収支	153,286,101	148,320,929
長期割賦事業の収支	153,286,101	148,320,929
長期割賦事業による収入	175,592,520	162,030,150
長期割賦事業による支出	△22,306,419	△13,709,221
一般管理活動による収支	△234,119,382	△208,720,538
その他経常損益に係る収支	△25,870,421	△23,212,255
その他経常損益に係る収入	7,738,540	18,351,516
受取利息による収入	5,264,671	7,800,490
雑収入	2,473,869	10,551,026
その他経常損益に係る支出	△33,608,961	△41,563,771
支払利息による支出	△32,282,765	△30,907,349
雑損失	△1,326,196	△10,656,422
その他の収支	62,603,850	2,742,280

(単位:円)

区 分	前年度	当年度
	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>		
事業資産形成活動による収支	△2,466,353,433	△478,757,469
分譲事業資産形成による収支	△1,104,552,535	△2,204,323,163
一般分譲住宅資産形成の収支	△48,654,285	△710,725,570
分譲住宅資産取得による支出	△48,654,285	△710,725,570
まちづくり事業建設工事の収支	74,152,424	△1,371,308,571
まちづくり事業建設工事の収支	74,152,424	△1,371,308,571
まちづくり事業建設工事による収入	1,291,083,166	932,637,536
まちづくり事業建設工事による支出	△1,216,930,742	△2,303,946,107
賃貸事業資産形成による収支	△1,130,050,674	△122,289,022
一般賃貸住宅資産取得の収支	△4,998,000	△30,217,535
賃貸住宅資産取得による支出	△4,998,000	△30,217,535
特優賃貸住宅資産取得の収支	△1,048,455,109	△38,246,491
賃貸住宅資産取得による支出	△1,048,455,109	△38,246,491
賃貸施設資産形成の収支	△76,597,565	△53,824,996
賃貸施設資産取得による支出	△76,597,565	△53,824,996
有価証券等の取得・償還等による収支	△1,349,650,857	1,699,958,375
定期預金の解約による収入	0	3,800,000,000
定期預金の取得による支出	△1,800,000,000	△2,800,000,000
有価証券等の償還等による収入	13,008,844,143	999,982,375
有価証券等の取得等による支出	△12,558,495,000	△300,024,000
その他の投資活動による収支	△12,150,041	25,607,319
有形固定資産等の形成による収支	△10,247,641	△1,713,009
その他の有形・無形固定資産形成収支	△10,247,641	△1,713,009
その他収支	△1,902,400	27,320,328
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	324,998,405	101,770,241
事業活動に係る資金の返済による支出	△373,115,375	△396,500,724
賃貸管理事業に係る借入金の返済による支出	△301,115,375	△342,500,724
その他の事業に係る借入金の返済による支出	△72,000,000	△54,000,000
長期割賦事業資産に係る借入金の返済支出	△72,000,000	△54,000,000
投資活動に係る資金の借入による収入	700,000,000	500,000,000
まちづくり事業建設工事に係る借入金による収入	0	500,000,000
賃貸管理事業資産形成に係る借入金による収入	700,000,000	0
その他財務活動に係る資金の調達及び返済による収支	△1,886,220	△1,729,035
リース債務に係る支出	△1,886,220	△1,729,035
当期中の資金収支合計	△1,635,361,403	1,099,859,597
前期繰越金(現金及び現金同等物)	4,118,957,521	2,483,596,118
次期繰越金(現金及び現金同等物)	2,483,596,118	3,583,455,715

(注記1) このキャッシュフロー計算書における次期繰越金(現金及び現金同等物)と、貸借対照表に掲記されている「流動資産/現金・預金」及び「固定資産/定期預金・有価証券」項目との関係は下表のとおりである。

貸借対照表科目	前年度	当年度
次期繰越金	2,483,596,118	3,583,455,715
流動資産	2,483,596,118	3,583,455,715
現金・預金	2,483,596,118	3,583,455,715
現金	6,000	0
預金	2,483,590,118	3,583,455,715
その他の資金	2,859,982,375	1,160,010,500
流動資産	2,799,982,375	1,100,010,500
定期預金	1,800,000,000	800,000,000
有価証券	999,982,375	300,010,500
固定資産	60,000,000	60,000,000
長期有価証券	60,000,000	60,000,000
合計	5,343,578,493	4,743,466,215



# 注 記 事 項

## 1 重要な会計方針

前 年 度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当 年 度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
<p>1 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 満期保有目的の有価証券 償却原価法によっている</p>	<p>1 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 満期保有目的の有価証券 同左</p>
<p>2 分譲事業資産の評価基準及び評価方法</p> <p>分譲資産及び分譲資産建設工事 個別法による原価法</p>	<p>2 分譲事業資産の評価基準及び評価方法</p> <p>分譲資産及び分譲資産建設工事 同左</p>
<p>3 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 賃貸事業資産</p> <p>賃貸住宅資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・償却方法：定額法</li> <li>・耐用年数：鉄骨鉄筋コンクリート造 50年ほか</li> </ul> <p>賃貸施設資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・償却方法：定額法</li> <li>・耐用年数：法人税法に規定する耐用年数 鉄骨鉄筋コンクリート造の店舗用 39年ほか</li> </ul> <p>(2) 有形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・償却方法：定額法</li> <li>・耐用年数：法人税法に規定する耐用年数</li> </ul> <p>(3) 無形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・償却方法：定額法</li> </ul>	<p>3 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 賃貸事業資産</p> <p>賃貸住宅資産 同左</p> <p>賃貸施設資産 同左</p> <p>(2) 有形固定資産 同左</p> <p>(3) 無形固定資産 同左</p>
<p>4 引当金の計上基準</p> <p>(1) 計画修繕引当金</p> <p>賃貸住宅資産の経年劣化等に対処するために、将来計画的に実施する修繕工事に要する費用の見積額を基礎として計上している。団地別・工事項目別に、計画額と計画修繕引当金の期末残高の差額を、実施までの見込み年数で均等に配分した額を繰入れている。</p>	<p>4 引当金の計上基準</p> <p>(1) 計画修繕引当金 同左</p>
<p>(2) 貸倒引当金</p> <p>賃貸管理事業収入未収金、長期事業未収金その他これに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため、賃貸管理事業収入未収金の一般債権については貸倒実績率、長期事業未収金については、貸倒リスクを踏まえた一定率、また、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討して、回収不能見込額を計上している。</p>	<p>(2) 貸倒引当金 同左</p>

前 年 度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当 年 度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
<p>(3) 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末の自己都合退職による期末要支給額の全額を計上している。</p> <p>(4) 期末手当等引当金 翌期支給の期末手当等の支給見込額のうち当期負担額を計上している。</p>	<p>(3) 退職給付引当金 同左</p> <p>(4) 期末手当等引当金 同左</p>
<p>5 特定目的積立金</p> <p>(1) 賃貸住宅建替資金等積立金 賃貸住宅建替資金等積立金は、平成元年4月1日付横浜市と締結した『生麦運河周辺総合整備事業に係る移転住宅敷地に関する協定書』に基づき、生麦ハイツに係る建替資金等に充当するため、当該住宅の利益の範囲内で理事会の決議に基づき計上している。</p> <p style="text-align: right;">当期繰入額                      6,107,577円 期末残高                         78,865,430円</p>	<p>5 特定目的積立金</p> <p>(1) 賃貸住宅建替資金等積立金 同左</p> <p style="text-align: right;">当期繰入額                      6,088,520円 期末残高                         84,953,950円</p>
<p>6 収益及び費用の計上基準</p> <p>(1) 分譲事業収益及び費用 収益は物件の引渡しをもって計上し、費用は発生の実態に基づいて計上している。</p> <p>(2) 賃貸管理事業、受託事業、指定管理者業務及びその他事業の収益及び費用 収益は期間または契約等により定められた役務の給付をもって計上し、費用は発生の実態に基づいて計上している。</p> <p>(3) その他の収益及び費用 収益は実現主義に基づき、費用は発生主義に基づき計上している。</p>	<p>6 収益及び費用の計上基準</p> <p>(1) 分譲事業収益及び費用 同左</p> <p>(2) 賃貸管理事業、受託事業、指定管理者業務及びその他事業の収益及び費用 同左</p> <p>(3) その他の収益及び費用 同左</p>
<p>7 建設期間中の支払利息等の原価算入方法</p> <p>(1) 分譲資産建設工事、まちづくり事業建設工事及び賃貸資産建設工事 分譲資産、まちづくり事業及び賃貸資産の建設工事に関連する借入金の利息及び特定の販売管理费用で、当該建設工事完了までのうち正常な期間内のものは、原価に算入している。</p> <p style="text-align: right;">〈当期算入額〉 なし</p>	<p>7 建設期間中の支払利息等の原価算入方法</p> <p>(1) 分譲資産建設工事、まちづくり事業建設工事及び賃貸資産建設工事 同左</p> <p style="text-align: right;">〈当期算入額〉 ・まちづくり事業建設工事 42,216,243円</p>
<p>8 リース取引の処理方法 ファイナンス・リース取引については、原則として通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。ただし、個々のリース資産に重要性が乏しいと認められる場合には、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。</p>	<p>8 リース取引の処理方法 同左</p>

前年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
<p>9 消費税等の会計処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。</p>	<p>9 消費税等の会計処理方法 同左</p>
<p>10 キャッシュフロー計算書の現金及び現金同等物の範囲 貸借対照表の現金預金の内、現金及び普通預金の合計額と同額としている。</p>	<p>10 キャッシュフロー計算書の現金及び現金同等物の範囲 同左</p>
	<p>11 その他重要な事項 (1) 会計上の変更及び誤謬に関する会計処理 (会計方針の変更) 地方住宅供給公社会計基準の改定(平成24年4月1日施行)に基づき、本年度から企業会計基準第24号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準及び同摘要指針」に準じ会計処理をおこなうこととしている。</p>

2 補足情報

前年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)																																																				
<p><b>I 貸借対照表に関する事項</b></p> <p>1 預金のペイオフについて 預金のペイオフに係る借入金相殺額及び限度超過額及び預金保険等の限度超過額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">預金の額</td> <td style="text-align: right;">4,283,590,118円(A)</td> </tr> <tr> <td>借入相殺の額</td> <td style="text-align: right;">3,756,296,788円(B)</td> </tr> <tr> <td>預金保険の額</td> <td style="text-align: right;">37,293,330円(C)</td> </tr> <tr> <td>超過額</td> <td style="text-align: right;">490,000,000円(A-B-C)</td> </tr> </table> <p>2 連帯債務額について</p> <p>(1) 連帯債務の内容 民間提携事業に係る土地所有者の住宅金融支援機構借入金の連帯債務</p> <p>(2) 連帯債務の額 2,202,492,474円</p> <p>3 リース取引について</p> <p>(1) ファイナンス・リース取引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主なリース資産: OA機器</li> <li>・償却方法: 定額法      ・リース期間: 5年</li> </ul> <p>4 賃貸事業資産等について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 「地方住宅供給公社に係る減損処理基準及び注解」に基づき、減損処理に係る会計処理を行った資産の状況は以下のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産のグループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>兆候</th> <th>認識</th> <th>計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①賃貸住宅資産</td> <td>10団地</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②賃貸施設資産</td> <td>15施設</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	預金の額	4,283,590,118円(A)	借入相殺の額	3,756,296,788円(B)	預金保険の額	37,293,330円(C)	超過額	490,000,000円(A-B-C)	種別	資産のグループ数	減損処理の状況			兆候	認識	計上	①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—	②賃貸施設資産	15施設	なし	—	—	<p><b>I 貸借対照表に関する事項</b></p> <p>1 預金のペイオフについて 預金のペイオフに係る借入金相殺額及び限度超過額及び預金保険等の限度超過額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">預金の額</td> <td style="text-align: right;">4,383,455,715円(A)</td> </tr> <tr> <td>借入相殺の額</td> <td style="text-align: right;">3,862,358,670円(B)</td> </tr> <tr> <td>預金保険の額</td> <td style="text-align: right;">31,097,045円(C)</td> </tr> <tr> <td>超過額</td> <td style="text-align: right;">490,000,000円(A-B-C)</td> </tr> </table> <p>2 連帯債務額について</p> <p>(1) 連帯債務の内容 民間提携事業に係る土地所有者の住宅金融支援機構借入金の連帯債務</p> <p>(2) 連帯債務の額 1,225,385,763円</p> <p>3 リース取引について</p> <p>(1) ファイナンス・リース取引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主なリース資産: OA機器</li> <li>・償却方法: 定額法      ・リース期間: 5年</li> </ul> <p>4 賃貸事業資産等について</p> <p>(1) 賃貸事業資産 「地方住宅供給公社に係る減損処理基準及び注解」に基づき、減損処理に係る会計処理を行った資産の状況は以下のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">資産のグループ数</th> <th colspan="3">減損処理の状況</th> </tr> <tr> <th>兆候</th> <th>認識</th> <th>計上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①賃貸住宅資産</td> <td>10団地</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②賃貸施設資産</td> <td>15施設</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	預金の額	4,383,455,715円(A)	借入相殺の額	3,862,358,670円(B)	預金保険の額	31,097,045円(C)	超過額	490,000,000円(A-B-C)	種別	資産のグループ数	減損処理の状況			兆候	認識	計上	①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—	②賃貸施設資産	15施設	なし	—	—
預金の額	4,283,590,118円(A)																																																				
借入相殺の額	3,756,296,788円(B)																																																				
預金保険の額	37,293,330円(C)																																																				
超過額	490,000,000円(A-B-C)																																																				
種別	資産のグループ数	減損処理の状況																																																			
		兆候	認識	計上																																																	
①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—																																																	
②賃貸施設資産	15施設	なし	—	—																																																	
預金の額	4,383,455,715円(A)																																																				
借入相殺の額	3,862,358,670円(B)																																																				
預金保険の額	31,097,045円(C)																																																				
超過額	490,000,000円(A-B-C)																																																				
種別	資産のグループ数	減損処理の状況																																																			
		兆候	認識	計上																																																	
①賃貸住宅資産	10団地	なし	—	—																																																	
②賃貸施設資産	15施設	なし	—	—																																																	
<p><b>II 損益計算書に関する事項</b></p> <p>1 特別損益の主要なものについて</p> <p>(1) 計画修繕引当金戻入の内訳 計画修繕引当金の残高の見直しに伴う修正益 786,310,382円 平成22年度決算時には前期損益修正益に計上していたが、会計基準の改定に伴い、科目を計画修繕引当金戻入に変更した。</p> <p>(2) 減損損失の内訳 「地方住宅供給公社会計に係る減損会計処理基準」に基づき、賃貸事業資産等の減損損失を計上している。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">当期の減損損失額</td> <td style="text-align: right;">なし</td> </tr> <tr> <td>減損損失累計額</td> <td style="text-align: right;">68,396,117円</td> </tr> </table>	当期の減損損失額	なし	減損損失累計額	68,396,117円	<p><b>II 損益計算書に関する事項</b></p> <p>1 特別損益の主要なものについて</p> <p>(1) 固定資産除却損の内訳 有形固定資産(相談センター内装工事他)の除却損 920,507円</p> <p>過年度分譲原価の内訳 過年度分譲住宅のアフターサービスメンテにかかる人件費相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成23年度分</td> <td style="text-align: right;">26,319,210円</td> </tr> <tr> <td>平成24～25年度分</td> <td style="text-align: right;">29,104,000円</td> </tr> </table> <p>(2) 減損損失の内訳 「地方住宅供給公社会計に係る減損会計処理基準」に基づき、賃貸事業資産等の減損損失を計上している。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">当期の減損損失額</td> <td style="text-align: right;">なし</td> </tr> <tr> <td>減損損失累計額</td> <td style="text-align: right;">68,396,117円</td> </tr> </table>	平成23年度分	26,319,210円	平成24～25年度分	29,104,000円	当期の減損損失額	なし	減損損失累計額	68,396,117円																																								
当期の減損損失額	なし																																																				
減損損失累計額	68,396,117円																																																				
平成23年度分	26,319,210円																																																				
平成24～25年度分	29,104,000円																																																				
当期の減損損失額	なし																																																				
減損損失累計額	68,396,117円																																																				

前年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	当年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
<p>Ⅲ その他の補足情報</p> <p>1 資産価額の適正化の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地方住宅供給公社会計に係る資産価額の適正化実施基準」に基づき、賃貸事業資産等の資産価額の適正化を実施した。</li> <li>・ 適正化による評価差額増額は、「剰余金計算書」において資本剰余金として計算し、その結果を貸借対照表の資本の部の資本剰余金に計上した。</li> </ul> <p>○ 適正化の実施時期      平成17年3月31日</p> <p>○ 資産価額の評価方法 賃貸事業資産については、原則として、収益還元法の収益価格と土地資産の正味実現可能価額とのいずれか高い方の額を資産価額とし、事業用土地資産及び分譲事業資産等は、正味実現可能価額を資産価額とした。</p> <p>○ 評価差額総額      287,303,777円</p>	<p>Ⅲ その他の補足情報</p> <p>1 資産価額の適正化の実施について 同左</p>
<p>2 事業区分等の変更について 平成19年3月31日付「横浜市住宅供給公社経理規程」の改正により、事業区分等を変更し、同日付で科目変更に伴う振替処理を行っている。</p> <p>○ 主な改正内容</p> <p>(1) 「流動資産」に「まちづくり事業建設工事」と「受託事業建設工事」を新設した。</p> <p>(2) これまでの事業区分「分譲事業」「賃貸管理事業」「その他事業」を「分譲事業」「賃貸管理事業」「受託事業」「指定管理者業務」「その他事業」に変更した。</p>	<p>2 事業区分等の変更について 同左</p>